

ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



運用責任者メッセージ

10月の内外株式市場は、引き続き中国恒大集団の債務問題やエネルギー価格の上昇、米国金利上昇などが懸念されましたが、こうした環境下でも米国のNYダウ、S&P500、ナスダックが揃って史上最高値を更新するなど、株式市場の底堅さも感じられました。

国内株式市場は、10月4日に岸田政権が発足し、解散総選挙後の政治状況に注目が集まりました。結果は、苦戦が予想されていた自民党が単独過半数を大きく上回り、安定多数を維持することとなり、株式市場でも政治の不透明感が払しょくされました。

当ファンドは小幅な下落となりました。当面は、今後の経済対策や新しい資本主義による分厚い中間層の再構築に向けた政策に注目しながらも、インフレ懸念や円安傾向などの環境下での各企業の取り組みを注意深く確認していきたいと考えています。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2021年10月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/XhVSRjz5XLY>



ザ・2020ビジョン

モーニングスターFUND OF THE YEAR2020
(ファンドオブザイヤー2020)

国内株式型 部門 優秀ファンド賞受賞！



Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド908本の中から選考されました。



基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2021年10月29日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2021年10月29日時点

基準価額

26,761 円

(前月末比)

△206 円 (△0.76%)

純資産総額

77.7 億円

(前月末比)

+0.2億円 (0.32%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△0.76%
3ヵ月	10.88%
6ヵ月	8.50%
1年	18.65%
3年	85.70%
5年	120.78%
10年	-
設定来	171.10%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	120円
2020年12月	150円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	97.0%
その他	3.0%

市場別比率

東証1部	78.4%
マザーズ	12.5%
JASDAQ	6.1%
その他	3.0%

業種別比率

情報・通信業	25.3%
電気機器	18.0%
サービス業	15.6%
小売業	11.7%
化学	7.1%
その他製品	3.9%
卸売業	2.9%
不動産業	2.1%
輸送用機器	2.1%
空運業	2.1%
医薬品	1.7%
電気・ガス業	1.6%
石油・石炭製品	1.6%
精密機器	1.3%
その他	3.0%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1 村田製作所	電気機器	国内電子部品大手メーカーで多くのグローバル高シェア製品を有する。海外売上高比率は90%超。5Gスマホ向けや基地局向けの電子部品等が業績の牽引役に。また、自動車向けでも「電動化」、「コネクテッド」、「安心・安全」等の進展につれて自動車の電装化が進み需要拡大が期待される。中期経営計画「中期構想2021」にて2021年度に売上高2兆円を目指す。	3.2%
2 ソニーグループ	電気機器	世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。	3.1%
3 レーザーテック	電気機器	1960年創業、半導体関連検査装置の開発、製造、販売、サービスの提供を主軸とするメーカー。“強さが発揮でき、成長できる分野に経営資源を集中する”との経営方針の下、ニッチ市場に特化し、技術力を背景に高いシェアを獲得。半導体の微細化など半導体製造工程の複雑化につれて需要拡大が見込まれ、業績拡大フェーズ入りへ。	3.0%
4 リクルートホールディングス	サービス業	会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。当時はまだ無名だった米Indeedを見出し、グローバルに大きく成長させた立役者でもある出木場社長のもと、人材マッチングで培った技術や、多くのクライアントとの現場接点を活かして、圧倒的に便利なサービスやプロダクトを世の中に提供していくことを目指す。	2.7%
		据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年	

5	任天堂	その他製品	に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。	2.7%
6	日本電産	電気機器	モータの開発・製造・販売が事業の中心。事業ポートフォリオは、精密小型モータ、車載、家電・商業・産業用など。今後の大きな成長が期待出来る「EV（電気自動車）の心臓部」である車輪駆動用モータに注力。2030年売上高10兆円の達成に向けて、2020年4月1日に日産出身の関新社長が就任し、2021年6月22日に社長兼CEOとなり経営体制を強化。創業者である永守氏は、引き続き会長としてグループを牽引。	2.6%
7	オリエンタルランド	サービス業	1983年に米国外で初のディズニーテーマパークとなる東京ディズニーランドをオープン。2001年には世界で唯一“海”をテーマとした東京ディズニーシーをはじめ、ディズニーホテル、複合型商業施設、などを一斉にオープンし、舞浜エリアを東京リゾートエリアに発展させてきた。今後50年、100年先も「夢、感動、喜び、やすらぎ」を提供し、多くの笑顔を生み出す企業で在り続けたい。	2.5%
8	FOOD & LIFE COMPANIES	小売業	1984年創業。回転すし業界トップのスシローを展開する。スシローイズムは、「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」を実現すること。2021年4月からの新社名・株式会社FOOD & LIFE COMPANIESには、「日々の食を美味しくすることでお客さまの生活や人生までゆたかにしたい」という想いが込められている。国内スシローだけでなく、海外事業およびスシロー以外の事業の成長を加速させる考えである。	2.4%
9	KADOKAWA	情報・通信業	1945年創業。企業スピリットは、変化を恐れずに挑戦し続ける心。文芸出版社の時代、文庫と映画のメディアミックスの時代、雑誌の時代などで存在感を発揮。2014年にドワンゴと経営統合、「ニコニコ動画」などドワンゴのプラットフォームとKADOKAWAのコンテンツを融合、デジタルコンテンツ・プラットフォーマーとして、中長期的な成長を目指す。	2.3%
10	ENECHANGE	情報・通信業	設立は2015年。ENECHANGE物語の始まりは東日本大震災（2011年3月）にさかのぼる。被災地にボランティアとして行き、エネルギー問題の重要性に初めて気付いた創業者の城口氏が、エネルギー制度が先進する欧州で知見を積みながら事業を展開する。事業は、プラットフォーム事業（エネルギーを選ぶを常識に）、データ事業（デジタル化でエネルギーをより効率的に）からなる。	2.3%

※2021年10月29日時点

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

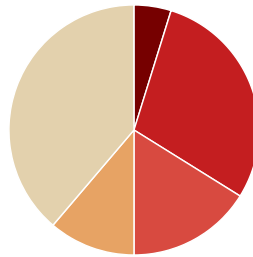
※その他とは現金等を指します。

※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



時価総額別構成比

時価総額別構成比



● 1000億円未満： 4.8% ● 1000億円以上3000億円未満： 29.0% ● 3000億円以上5000億円未満： 16.1%
 ● 5000億円以上1兆円未満： 11.2% ● 1兆円以上： 38.7%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市場概況

10月の日本株市場は大幅下落からのスタートとなりました。原油高によるインフレ懸念の高まりから世界的に長期金利が上昇したことや、米国の債務上限問題、中国の不動産大手恒大集団の債務問題、また国内では金融所得税増税懸念などの悪材料が重なり、日経平均は初日から6日までの4営業日で約2,000円の下落となり約1ヵ月ぶりの安値となりました。

中旬にかけては、7日に米議会で連邦債務上限を拡大する法案が可決されたことで米国株が大幅上昇となったことで日経平均も反発に向かいました。

また、11日に岸田総理が金融所得税について当面引き上げを考えていないと表明したことで大幅上昇となり、日経平均株価はほぼ月初の水準を回復しました。

後半に入ってから、第2四半期決算が始まった米企業の好業績で上昇を続ける米国株につれ高する局面もありましたが、24日の参議院補欠選挙で自民党候補が1勝1敗となり31日の衆議院議員選挙で自民党の獲得議席が伸び悩むのではないかとこの見方が週末にかけて日本株の売りを誘い大幅下落となったことから、月末の日経平均株価は前月末比560円安（▲1.90%）の28,892円で取引を終えました。



運用状況

10月、当ファンドは▲0.76%の下落となりました。組入銘柄の中では5銘柄が10%以上の上昇となりファンドのパフォーマンスをけん引しました。再生エネルギー関連などが好調でした。年初来高値を更新した銘柄が8社（全体の約14%）、さらに、上場来高値を更新した銘柄も8社となっています。

同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲1.42%の下落、日経平均株価は▲1.90%の下落、東証マザーズ▲1.82%の下落でした。

なお、組入銘柄も新たに2銘柄が追加され、株式組入比率は97.0%と前月比+2.8%上昇しています。

◆2021年10月運用報告動画もぜひご覧ください。

2021年10月運用報告動画

<https://youtu.be/XhVSRjz5XLY>





未来予想図

【組入銘柄に見る中長期の期待】

10月下旬以降、2021年7～9月期の決算発表が相次いでいます。

今回は、ザ・2020ビジョンの上位組み入れ（10月末時点）に、担当銘柄から4銘柄、**オリエンタルランド**、**FOOD&LIFE COMPANIES**（旧社名スシローグローバルホールディングス）、**KADOKAWA**、**ENECHANGE**が入っているので、その注目ポイントです。

ザ・2020ビジョンは、**変化**、**中長期**がキーワードです。

オリエンタルランドの場合、東京ディズニーシーの大規模プロジェクトに注目しています。

2023年度をメドに2500億円をかけてディズニーシーに4つのアトラクションなどをつくるというものです。少子高齢化や賃金が伸び悩む国内向けに大型投資をして、見合った成果を得るには一般的には難しい状況ですが、ディズニーシーの場合は、熱量の高いリピーターが多いとみられ、中長期で大きな投資効果が期待できると思われれます。

FOOD&LIFE COMPANIESについては、海外での展開を注目しています。台湾、香港、シンガポール、韓国、タイ、中国などアジア圏で出店を進めていますが、スシローの回転寿司が地域に認知され、和食文化が広がっていればと期待しています。

KADOKAWAについては、出版（紙の書籍と電子書籍）、アニメ、ゲーム、教育の4つの事業がシナジーを生み、企業価値を高めていく会社として注目しています。プラットフォームとの連携などで、日本を代表する文化の一つである漫画・アニメ、ゲーム文化が、グローバルで一段と注目を集めることを期待しています。

ENECHANGEについては、脱炭素化の流れのなか、事業領域である電力契約の切替需要、省エネ・VPP（仮想発電所）サービスへの関心が高まっていくとみられます。2050年脱炭素化の流れのなか、日本では政府の補助金（FIT買取費用）が2030年度には6兆円まで増加の見込み（2021年度想定は3.8兆円）で、再エネ賦課金増加による電力コストの上昇が見込まれています。

ところで、各社が企業文化として大切にしているのは、

オリエンタルランドの場合、「**今後50年、100年先も夢、感動、喜び、安らぎを提供していくこと**」

FOOD&LIFE COMPANIESは、「**変えよう毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを**」

KADOKAWAは、「**不易流行（＝常に新しさを極め続けることで、いつまでも変わらない本質的なものが見えてくる）**」

ENECHANGEは、エネルギーの自由化・デジタル化・脱炭素化・分散化への展開を通じて、「**エネルギーの未来をつくる**」ことです。

各社とも、変化に対応しながら、中長期視点で企業価値向上を目指しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭





コモンズPOINTからのお知らせ

【日本知的障害者水泳連盟からの近況報告】

日本知的障害者水泳連盟からの近況報告

10月31日（日）トッケイセキュリティ平塚総合体育館温水プールにて、第24回日本知的障害者選手権（25m）水泳競技大会が開催されました。207名が出場し、**日本新記録7、大会新記録22が樹立**されました。

おめでとうございます！

11月20日（土）～21日（日）には千葉県国際総合水泳場にて、第38回日本パラ水泳選手権大会が開催される予定です。

いずれも無観客体制の大会開催が続いていますが、出場選手たちはやはり大会があることが日々の練習の励みになっているようです。



【日本視覚障害者柔道連盟からの近況報告】

同連盟のウェブサイトでは視覚障害者柔道の普及を目指し、初心者の視覚障がい者の方でも稽古にチャレンジできる全国の道場のご紹介などをされています。

10月は大阪市立修道館をご紹介します。

<https://judob.or.jp/news/>

また、無観客開催となった11月28日開催予定の第36回全日本視覚障害者柔道大会。

同大会はYouTubeにて動画配信を予定されています。公開詳細については近々ウェブサイトにて告知されます。

引き続き選手たちの応援、お願いいたします。



ソーシャルエンゲージメントリーダー 馬越 裕子



お知らせ

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

◆2021年10月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/XhVSRjz5XLY>



11月も様々なセミナーを開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください!

□【オンライン】運用責任者が語る! コモンズ投信ファンド説明会

11月28日(日) 13:00~14:15

□【オンライン】ジュニアNISAとこどもトラスト

11月18日(木) 10:30~11:00、11月24日(水) 20:00~20:30

□【オンライン】NISA制度の活用方法

11月10日(水) 20:00~20:30

□【オンライン】トレーダーふっちーが語る

長期投資におけるテクニカル分析

11月11日(木)、11月25日(木) 15:35~17:55

□<熊本開催>こどもトラストセミナー「MEからWEへのお金の教室」

11月27日(土)

(低学年の部) 10:00~11:30

(高学年の部) 14:00~16:00

※詳細は commons 投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆

運用責任者が語る! コモンズ投信 ファンド説明会

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長兼最高運用責任者
伊丹 悠輔





販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第52号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○			○



ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	換金申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>